

## 透析患者の入居者を有する老健施設での介護情報共有 -電子カルテ「申し送り画面」の有用性-

こくら庵、MBT e c

○東村清貴、酒匂智和子 福本駿 山崎美菜 吉永弘子 小松利恵子 船越哲  
穴見正士

### 【背景】

透析専門病院に附設して開院した当施設では、当初より電子カルテ『介護シナプス』を運用していたが、利用者情報の共有は連絡ノートやメモにとどまっていた。その後2012年10月より同システムに「申し送り画面」を追加し、各スタッフが日々の業務記録内容を、部署指定で伝達できるようになった。

### 【目的・方法】

「申し送り画面」導入前後で、利用者に生じたトラブルの推移等をみることに  
より、患者情報共有化ツールとして機能しているかを評価する。

### 【結果】

伝達ミスによる事故は、導入前後の3ヶ月で34件から9件に激減していた。スタッフからのアンケートでは「利用者のリスクと対処法がリアルタイムで把握できる」、「最新の利用者医療情報が得られる」、「複数のスタッフで均一の対応ができる」などの意見が聞かれた。

### 【考察】

電子カルテ「申し送り画面」の有用性が示唆される一方、個人情報保護についても十分留意せねばならない。